日本英文学会東北支部ニュースレター

Newsletter

The Tohoku Branch of the English Literary Society of Japan

2017年6月号 (June 2017)

発行 日本英文学会東北支部 〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149 宮城教育大学 英語教育講座 竹森徹士研究室内
TEL: 022-214-3496 E-mail: tohoku@elsj.org URL: <http://www.elsj.org/tohoku/>

支部長挨拶

日本英文学会東北支部長 大河内 昌

昨年度は前支部長箭川修先生のご病気による支部長辞任にともない、1年間だけ支部長を務めました。さらに今年度より2年間、東北支部の支部長を務めることになりました。昨年度まで4年間にわたって事務局運営の激務を引き受けてくださった富士航前事務局長と井出達郎前事務局員に感謝いたします。今年度からは竹森徹士事務局長、島越郎事務局長補佐、佐藤亮輔事務局員という体制で事務局が運営されます。日本英文学会の公益財団法人化と連動して従来の「東北英文学会」が「日本英文学会東北支部」となったのは2010年度のことでしたが、その後学会の運営は大きく変化しました。東北英文学会は独立した組織だったので、東北英文学会だけに加入することができましたが、支部は日本英文学会の会員によって構成されるので、支部だけに加入することはできなくなりました。支部化によって他の支部との連携が強化され『英文学研究支部統合号』や『支部大会統合プログラム』が発行されるようになり、支部横断的な活動や情報交換が活発になりました。これは支部化の良い面だと思います。他方、支部の会計の複雑化や業務増加によって事務局の負担が倍増したという負の側面もあります。支部化から6年が経過し、多くの学会員の努力によって支部体制による運営は本部・支部ともに安定してきました。しかし、英文学会自体が困難に直面している状況は変わりません。今年度の全国理事会においてもここ数年、会員がほぼ50人ずつ減少しており、その趨勢は今後も継続するだろうという報告がありました。日本英文学会は本部・支部ともに、組織が縮小する中で学会活動をどのように活発化してゆくのかという重い課題を背負っています。もちろん、特効薬はありません。日常的な教育活動を誠実にやり、できるだけ高いレベルの研究活動を行うこと以外には、われわれにできることはありません。そうした活動をできるだけ円滑におこなうために、学会が存在するのだということを考えるなら、右肩下がりの困難な時代にこそ、学会の存在意義はますます増してゆくのだと思います。今後も日本英文学会東北支部は支部大会の開催、さまざまな出版物の発行、研究奨励事業などをおして、会員が相互に知り合い、助けあうような場でありたいと考えています。支部大会や『東北英文学研究』は会員のみなさまが自分の研究を発表する機会なので、存分に利用してほしいと考えています。会員の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

入退会手続きおよび会費納入について

全ての東北支部会員の入退会手続きおよび会費納入は、支部事務局ではなく本部事務局を通じて行われることとなります。日本英文学会 HP (<http://www.elsj.org/>) に入退会に関する情報がございますのでご覧下さい。詳しくは本部事務局 (ejimu@elsj.org) へお尋ねください。年会費は、本部会費 (7000円) + 支部会費 (1000円) です。

第 72 回支部大会の開催について

2017 年 4 月 23 日に第 1 回理事会および大会準備委員会が開催され、日程等の協議が行われました。審議の結果、第 72 回大会は以下のように行われることになりました。なお今年度より支部大会は一日のみの開催となります。

日時：2017 年 12 月 2 日（土）

場所：東北大学川内南キャンパス 文科系総合講義棟・文学研究科棟

お誘い合わせの上、ふるってご参加ください。

研究発表応募要項

第 72 回大会で研究発表をご希望の方は、(1) 研究発表概要 (2000 字・審査用)、(2) 概要の要旨 (400 字・採用された場合に大会プログラムに掲載)、(3) カヴァーレターの 3 点を **6 月 30 日 (金) までに** MS Word 形式の添付ファイルにして、東北支部事務局 (tohoku@elsj.org) までお送りください。

また、(3) のカヴァーレターは、東北支部 HP (<http://www.elsj.org/tohoku/>) よりダウンロードしたものをお使い下さいますよう、お願い申し上げます。

シンポジウムについて

第 72 回大会で行われる予定のシンポジウムについては、現在次のような企画が進行中です。どうぞご期待ください。

◆英文学部門：テーマ：「近現代英文学と旅行記の系譜」（仮題）

司会・講師：菊池秋夫（八戸工業高等専門学校）

講師：鈴木淳（東北工業大学）三枝和彦（山形大学）

◆米文学部門：テーマ：「英米大衆音楽を読む」（仮題）

司会・講師：高橋哲徳（東北工業大学）

講師：高橋志朗（八戸工業大学）

◆英語学部門：テーマ：「形式と機能の両面から見た言語の姿—語・文・談話レベルの分析から日英語の言語的特長を考える—」（仮題）

司会・講師：五十嵐啓太（会津大学短期大学部）

講師：三上傑（東北大学）坂本暁彦（常磐大学）大久保龍寛（茨城県立医療大学）

大会準備委員について

今年度の大会準備委員は以下の会員が務めます。

英文学部門：菊池秋夫（八戸工業高等専門学校）佐藤恵（東北生活文化大学）

米文学部門：田島優子（宮城学院女子大学）金子淳（山形大学）

英語学英語教育部門：五十嵐啓太（会津大学短期大学部）三上傑（東北大学）

開催校委員：大河内昌（東北大学）

編集委員について

今年度の編集委員は以下の会員が務めます。

英文学部門 境野直樹（岩手大学）樋渡さゆり（明治大学）鈴木淳（東北工業大学）

米文学部門 宇津まり子（山形大学）中山悟視（尚絅学院大学）熊本早苗（岩手県立大学）

英語学英語教育部門 高橋英也（盛岡大学）ルプシャ・コルネリア（岩手県立大学）

佐藤元樹（福島大学）

事務局の体制について

2017年4月より事務局が東北学院大学から宮城教育大学へ移転しました。宮城教育大学准教授・竹森徹士が事務局長を、東北大学教授・島越郎が事務局長補佐を、東北大学大学院生・佐藤亮輔が事務局員を務めております。支部大会開催関係事務と会計を竹森が、出版関係事務を島が、HP管理を佐藤が担当しております。事務局へのご連絡は、電子メール（tohoku@elsj.org）をお使いください。

理事会報告

2017年4月23日に、本年度第1回理事会が開催されました。以下にその議事録を掲載します。

日本英文学会東北支部 2017年度第1回理事会

議事録

日 時 2017年4月23日(日)・15:00~17:00

場 所 東北大学文学研究科棟・中会議室(3階)

出席者(順不同・敬称略)

支部長 大河内昌(東北大学)

副支部長 佐々木和貴(秋田大学)

理 事 石橋敬太郎(岩手県立大学) 大西洋一(秋田大学) 奥野浩子(弘前大学) 金子淳(山形大学)
金子義明(東北大学) 川田潤(福島大学) 鈴木雅之(宮城学院女子大学) 村上東(秋田大学)

※鈴木亨理事(山形大学)は都合により欠席予定

事 務 局 竹森徹士(事務局長) 島越郎(事務局長補佐) 佐藤亮輔(事務局員)

議 題

報告事項

(1) 本部理事会報告

大河内支部長より従来通りの運営が行われる旨の説明があり、次期会長に原田範行氏が就任予定との報告があった。

議事

(1) 2016年度事業報告(資料1)

事務局が提示した事業報告が承認された。

(2) 2016年度決算報告(資料2)

事務局が提示した決算報告が承認された。

(3) 2016年度監査報告(資料2)

事務局より監査報告について説明があり、承認された。

(4) 2017年度事業計画について(資料3)

事務局が提示した事業計画が承認された。今年度より1日開催となる第72回大会については、大河内支部長より会場配置および当日のスケジュールについて、配布資料に基づいて詳細な説明がなされた。

(5) 2017年度予算について(資料4)

事務局が提示した支部予算が承認された。

(6) その他

メールによる審議で諮られていた若手研究者のためのトラベル гранト1件について、審議の結果承認されたことが報告され、申請額どおり助成されることとなった。

以上